

# #1

ローザス創設から現在にかけて活躍している日本人ダンサーの、初ソロ作品。



Fumiyo Ikeda  
「in pieces」  
(from Belgium)



池田扶美代  
ソロ・パフォーマンス

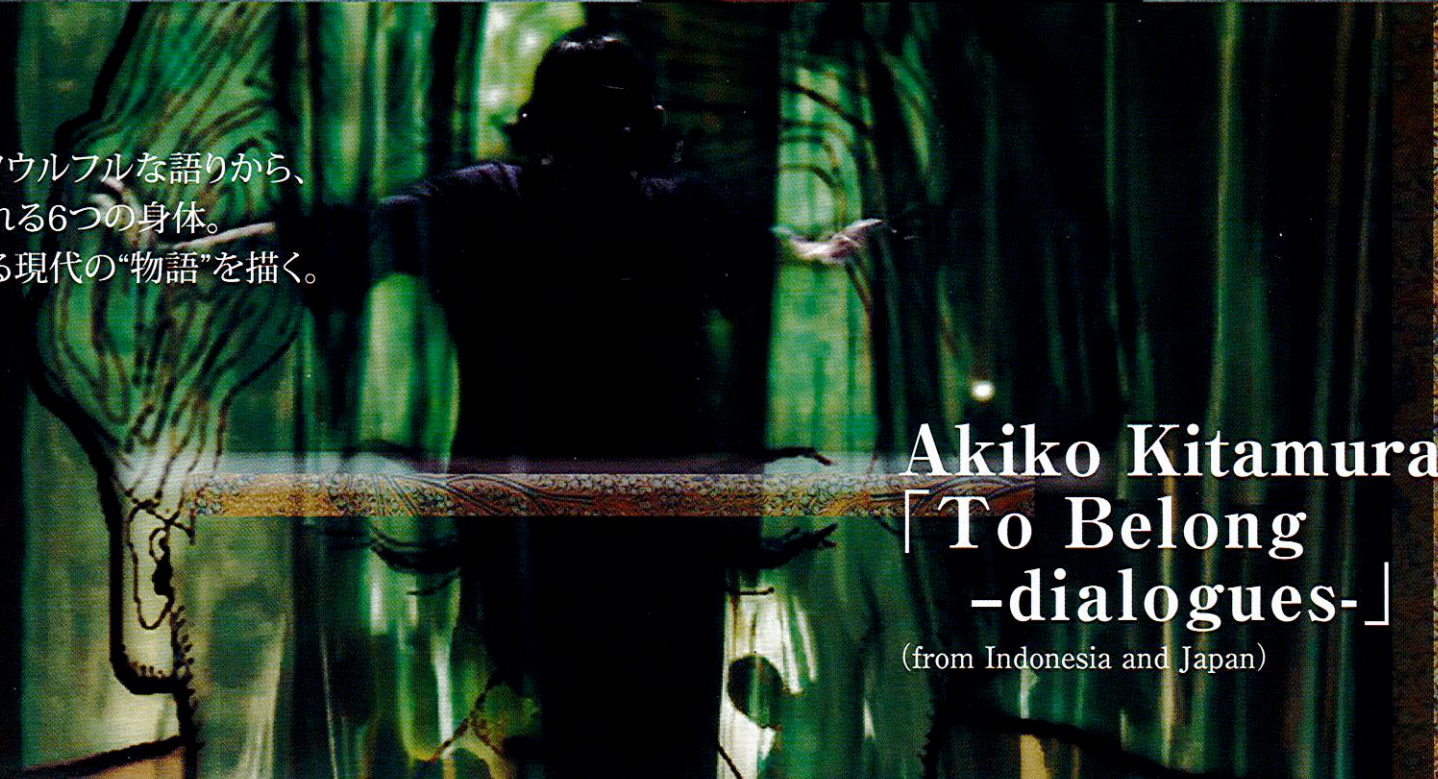
9/15 [sat]

9/16 [sun]

photo: Herman Sorgeloos

# #2

インドネシアのソウルフルな語りから、ダンスへと誘われる6つの身体。生と死にまつわる現代の“物語”を描く。



Akiko Kitamura  
「To Belong  
-dialogues-」  
(from Indonesia and Japan)



北村明子  
インドネシア×日本  
国際共同制作公演

9/25 [tue]

photo: Herman Sorgeloos

# #3

いまだに膠着状態がつづくイスラエルとパレスチナ問題に真っ向から対峙したダンス作品。



Arkadi Zaides  
「Quiet」  
(from Israel)



アルカディ・ザイデス  
日本イスラエル国交樹立60周年  
記念事業

9/27 [thu]

photo: Gadi Dagon, † Dor Garbasg graphics-Avital Schreiber

## dB international works 2012

会場: ArtTheater dB神戸

予約・お問合せ: NPO法人DANCE BOX

Tel. 078-646-7044 / Fax. 078-646-7045 / Mail. info@db-dancebox.org

「dB International Works」では、海外を拠点とするアーティスト、または国際共同制作によって制作された作品をご紹介します。 #1「in pieces」は、ローザスを代表するダンサー・振付家の池田扶美代とフォード・エンターテインメント演出家ティム・エッチェルスによる初のコラボレーション作品。繰り返される言葉、動き、感情、音楽、歌などに潜むフラジイルな記憶の破片を拾い集め、記憶した過去と広がる現在を辿ります。 #2「To Belong -dialogues-」は、これまでレニ・バツを牽引し、現在はソロで活動する北村明子による約3年ぶりの新作上演、関西には約10年ぶりの登場です。8年前にdB主催「Asia Contemporary Dance Festival」に参加し、複数の仮面を用いて現代の人々の姿を鮮やかに見せたマルチナス・ミロトも出演。 #3「Quiet」は、バットシエバ舞踊団等の作品に参加し、現在はフリーランスで活躍している振付家アルカディ・ザイデスによる渾身の代表作。ユダヤ人2名・アラブ人2名の出演者によって繰り返された対話の果てに生み出されました。世界各地で上演を繰り返し、一石を投じ続けている当作品、アジア初です。3作品とも西日本では神戸のみの上演。皆様のご来場を心よりお待ちしております。



9.15.sat. & 16.sun. 2012

# 池田扶美代 「in pieces」

振付・出演：池田扶美代  
 演出：ティム・エッチェルス  
 ドラマトゥルグ：サラ・ヤンセン  
 照明：ナイジェル・エドワーツ  
 美術：リチャード・ロンドン  
 衣装：アン・ウェックス  
 選曲：ジョージ・ヴァン・ダム  
 写真：ヘルマン・ソルゲロース  
 舞台技術・照明・音響：デビッド・ドゥスケッブル  
 舞台監督：鈴木康郎

製作：ROSAS  
 共同製作：Sadler's Wells, Kaaitheater, PACT Zollverein, Théâtre Garonne, Festival d'Automne à Paris, Théâtre de la Bastille  
 制作：プリコグ

ローザスを代表するダンサー・振付家の池田扶美代とイギリスを代表する演出家ティム・エッチェルスとのコラボレーション作品。

私は10歳からダンスを始め、16歳でベルギー国立20世紀バレエ団付属学校ムードラに入学しました。入学する前から、日本でダンスをやっていくにはある種の危機感を感じていました。ムードラは私の人生を大きく変えました。ローザスを創立した当時、私は20歳、アンヌ・テレサは22歳でした。今日まで沢山のローザスの作品と映画の仕事に参加しています。未だにアンヌ・テレサの事は良く分かりません。だからこそ、まだ一緒に仕事を続けられているのかも知れません(笑)。7年位前に彼女から何か作品を創ってみてはどうかとオファーを頂きました。一番目に創った作品がアラン・ブラテルにコーチを頼み、ベンヤミン・ヴォルドンクと創ったNine Finger。二番目に創った作品が、初めてのソロ作品in piecesです。(池田扶美代)



photo: Herman Sorgeloos

横浜公演 (KAFE9企画) / 9月7日(金)~9日(日) @ 神奈川芸術劇場 中大小スタジオ  
 dB企画「国内ダンス留学@神戸」ワークショップ開催 / 9月12日(水)・13日(木) @ ArtTheater dB神戸

池田扶美代 >> 1962年大阪生まれ。1979年、モーリス・ベジャールのムードラ(ブリュッセル)に入学。同校でアンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケルと出会い、1983年共にローザスを結成。以来、2008年まではほぼ全ての作品の創作に携わり出演する。ローザスの多くの映画やビデオ作品にも参加し、ジャンルを超えて活動を広げる。2007年以降は、アラン・ブラテルとベンヤミン・ヴォルドンクやニューヨークの演劇グループ、ネイチャー・シアター・オブ・オクラホマと共に自身の作品を発表。現在はローザスの初期作品のリハーサルディレクターを務めると共に、ツアー中の作品「エレナス・アリア」、「ドミンゴ」にもダンサーとして参加している。  
 ティム・エッチェルス >> 1962年生まれ、演出家。イギリスを拠点とするパフォーマンスカンパニー「フォード・エンターテインメント」アーティストディレクター。各国で数多くのアヴァンギャルドなパフォーマンスが話題を呼ぶ。異なるメディアやアート、言葉と世界をコラージュし衝突させ、新たな言葉の可能性とそこに含まれる制限を探求する。日本でもあいちトリエンナーレ2010やPostmainstream Performingarts Festival, Tokyoで作品を発表、好評を得ている。



助成：芸術文化振興基金、公益財団法人アサヒグループ芸術文化財団、フランダース政府、フリタージュ・カウンスル(初演時)

9.25.tue. 2012

# 北村明子 「To Belong - dialogues -」

演出・振付：北村明子  
 ドラマトゥルグ：石川慶、Slamet Gundono  
 音楽・音楽監修：森永泰弘 (CONCRETE)  
 音楽提供：山根ミチル、近藤信幸、Slamet Gundono、横山裕章、波多野敦子  
 映像監督・映像制作：兼古昭彦  
 映像制作：石川慶、松崎希光子  
 衣裳デザイン・制作：堂本教子  
 照明・美術・テクニカルディレクター：関口裕二 (balance.inc. DESIGN)  
 ダンサー：Martinus Miroto, 今津雅晴、Rianto, 三東瑠璃、西山友貴、北村明子  
 制作：Office A/LB 小山選手  
 共同製作：Komunitas Salihara

この作品の創作は、現代人形芝居ワヤン・クリのパフォーマー、スラム・グンドノが、歌い、語る母の死の物語について、バックグラウンドの異なるアーティスト同士のディスカッションから始まりました。

ココロとカラダ、死者との対話、過去・現在・未来の繋がり・・・

ここから浮かび上がる「見えないものとの対話」というテーマを軸に、宗教や国籍、年齢、人種の違いを越えて、個性がぶつかり合い、溶けあうドラマを作品化しました。ジャワのゆったりとした高貴な風、バヌムス地方の開放的な強さ、そして東京のスピーディーでソリッドな動きが絡まり合う、多様なアジアの身体が共存する時間をお楽しみください。



photo: Witjak Widhi Cahya

東京公演 / 9月22日(土)~23日(日) @ 世田谷パブリックシアター・シアターラーム

北村明子 >> 早稲田大学入学後、Leni-Basso結成。95年文化庁派遣在外研修員としてベルリンに留学。01年 Bates Dance Festival (USA) にて作品発表、03年 American Dance Festival (USA) 委託作品「Enact Oneself」はThe Independent Weekly 紙ダンス・オブ・ザ・イヤーに選ばれる。01年代表作「finks」は多数の都市にて上演、Montreal HOUR 紙2005年ベストダンス作品賞受賞。05年ベルリン「世界文化の家」委託作品「ghostly round」は世界各国で上演し絶賛を得た。ACE dance&music (英・2007/2011)、Artzoyd (仏・2009,2010) など海外作品やCM、映画、演劇、オペラなどの振付・出演も積極的に行う。

マルチナス・ミロト >> インドネシアジャワ伝統舞踊を学ぶ。86年ミロト・ダンス・カンパニーを設立。87/88年、ピナ・バウシュに学ぶ。05年にはアメリカン・ダンス・フェスティバルに参加。現在、演出家ジェラルド・モスターとの国際共同制作など進行中。ほか、ピーター・セラ、オン・ケン・センらと共同作業をし、06年 Opera Java (Garin Nugroho 監督) にダンサー・俳優として主役を務める。現在 Indonesian Institute of Arts 講師。

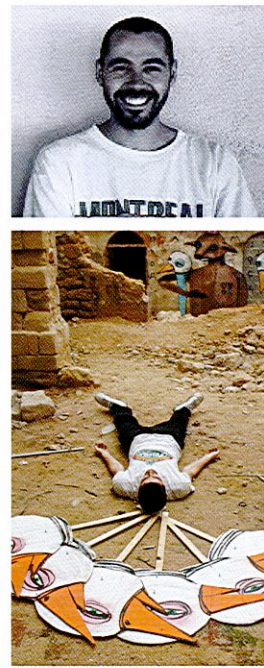
助成：財団法人セゾン文化財団 芸術文化振興基金

9.27.thu. 2012

# アルカディ・ザイデス 「Quiet」

振付・演出：アルカディ・ザイデス  
 アーティストリック コラボレーター：Joanna Lesnierowska  
 出演：Muhammed Mugarbi, Yuval Goldstein, Ofir Yudilevitch, Arkadi Zaides  
 音楽：Tom Talim, Ziv Jacob, Domenico Ferrari, Ran Slavin  
 舞台美術：Klone  
 照明：Firas Roby  
 衣装：Salim Schada  
 プロダクション：Hila Kaplan  
 共同製作：Arts Station Foundation, Poznan, Poland

現状を振り返る事すら許されず、変化の兆しも望めない、危機的な状況にあるイスラエルでは、暴力とコミュニティ間での疑念が増長しています。作品「Quiet」はそのような、真にせまった危機から立ち上がりました。このような状況下で、誠実に開かれた会話をを行うことができるプラットフォームを作ろうと激しく感じたのです。そこは、人々に果敢う悪意をつまみ出し、より自由になる為の安全な場、また不合理な言い争いを精査し感情を伝える事も恐れない場、そして多様な見解が探求され、日々信頼が築かれ続ける場。ユダヤ人とアラブ人、俳優とダンサー。私たちの作品制作のプロセスは、出演者のかかえる社会的現実やアーティスト的な背景の全ての違いによって、インスパイアされ、育まれました。4名の出演者は、攻撃性、あわれみ、混乱、そして切望を内包したこの極限的な情景のまっただ中に、これらの衝突の形をはらんだあらゆるレイヤーを内包できる静かな土地 (「Quiet」) を探し続けているのです。



東京公演 (ダンストリエンナーレトーキョー2012) / 9月30日~10月1日 @ 青山円形劇場

アルカディ・ザイデス >> 1979年旧ソ連生まれ、1990年イスラエルに移住。パトシエバ舞踊団、ヤスミン・ゴデール・ダンス・グループ等でダンサーとして活躍した後、2004年より振付家として活動、現在はテルアビブを拠点として活動。2008-09年イスラエル文化省ダンス部門若手アーティスト賞、2010年「Solo Colors」にてクルト・ヨース賞等、国内外で様々な賞を受賞。近年は特にイスラエルのアラブ人地区を中心に多様なコミュニティで活動を展開。この2年間、振付家アナット・ダニエルとともにエルサレムのパフォーマンス・アート・アリーナにおいて、New Dance Projectを開始し、若手振付家のためのプラットフォームを開発し続けている。



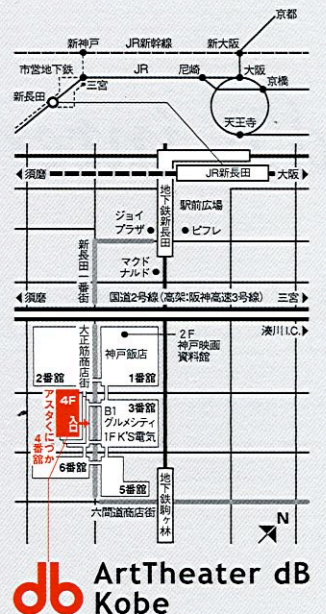
日本イスラエル国交樹立60周年記念事業  
 助成：The Israeli Ministry of Culture and Sport, The Choreographers Association (Tel Aviv), Art Station Foundation (Poznan), Rabah Morkus Studio For Dance and Movement (Kafer Yassef), The Israel Lottery Council, Polish Institute (Tel Aviv), Teva Pharmaceutical Industries

# dB international works 2012

予約・お問合せ：NPO 法人 DANCE BOX  
 Tel. 078-646-7044  
 Fax. 078-646-7045  
 Mail. info@db-dancebox.org  
 WEB. http://www.db-dancebox.org/

会場：ArtTheater dB神戸  
 〒653-0041 神戸市長田区久保町6-1 アスタくにつか4番館4階  
 <アクセス>  
 JR「新長田駅」、神戸市営地下鉄山手線「新長田駅」より徒歩8分  
 神戸市営地下鉄海岸線「駒ヶ林駅」より徒歩3分

エグゼクティブ・ディレクター：大谷健 / 事務局長：文 / プログラム・ディレクター：横堀ふみ / 運営スタッフ：田中幸恵、已斐緑、西岡樹里、橋本麻希 / 舞台：大田和司、藤波まはる / 照明：三浦あさ子、岸田緑、森田智子、坂本幸子、茂木紀恵 / 音響：秘魔神 / WEBデザイン：内山大 / 宣伝美術：升田学



スケジュール/料金	9/15(土)	9/16(日)	9/25(火)	9/27(木)	一般前売	学生・障がい者・ 介助者・シルバー	一般当日
#1 池田扶美代	19:00	15:00	-	-	3,000円	2,300円	3,300円
#2 北村明子	-	-	20:00	-	2,500円	2,000円	2,800円
#3 アルカディ・ザイデス	-	-	-	20:00	2,500円	2,000円	2,800円
3公演通し券	6,500円(限定10名)		※dBのみお取り扱い				

※全席自由席。受付順に入場整理券をお渡します。 ※受付開始は開演の45分前、開場は開演の20分前。 ※お席に限りがございます。お早目にご予約ください。